

洛西・大原野で、桜花の古社寺巡り!

令和7年4月4日(金)

水先案内人: 牧 彰(会員)

京都盆地の三方を囲む山々を、東山・北山・西山と呼び慣わされている。古来、西山は都人の隠棲の地とされ、今なお閑静な趣を残している。その山裾にかけて美しい竹林が広がり、由緒ある古社寺が随所に点在する。

姿の優しい小塩山山麓・大原野には、緑滴る竹林、群生する柿の木、菜の花畑に芒の原と、いかにも山里らしい長閑な風景が広がる。

なかでも、大原野神社は、都会の喧騒から離れた深い緑に包まれ、一千二百年ほどの歴史を秘めて厳かに鎮座している。

平安京遷都以来、大原野神社は皇城镇護の社として崇められ、藤原氏出身の皇族・貴族たちは、競って参詣してきた。その結果、華やかな貴族文化がこの地に持ち込まれ、大原野の地は美しい自然を背景にした王朝芸術の格好の舞台になる。

特に、寛弘2年(1005)の一条天皇中宮彰子の行啓は名高く、藤原道長を初め紫式部らも供奉し、その行列の絢爛さは衆目を集めたといわれている。



大原野神社の千眼桜と神鹿(雄)

■西迎寺

大原野神社に向かう手前にあり、樹齢200年の枝垂れ桜が、鐘楼前に鎮座している。あまり知られていないが、穴場の名桜である。先ずは最初に立寄りたい。

■正法寺

桜花の隠れた名所として評判の寺院。遙か彼方に東山三十六峰を望む借景式庭園の枝垂れ桜の大樹は、苔や白砂を薄紅色のベールで覆う。境内に処を得て植えられた紅枝垂れ桜が、春を謳歌するように咲き誇る。

■大原野神社

社殿は、長岡京遷都の際、奈良・春日大社から勧請する。鯉沢池の畔に、山桜・染井吉野・そして珍種の千眼桜が咲き、池面に春風に舞い散った花弁を浮かべている。

■勝持寺・花の寺

花僧の西行がこの寺で出家したと伝え、所縁の西行桜(現在は三代目)がある。西行桜は鐘楼の傍に天蓋さながらに枝垂れ咲き、山内は100本の桜花が繚乱する。

■願徳寺(オプション)

本尊の如意輪観世音菩薩半跏像(この地域で唯一の国宝)は、中国・唐様式の影響を受けた平安初期の一本造りの傑作。尊顔の美しさは、一見の価値あり。

◇参集地: JR「向日町」駅10時 雨天決行 歩行距離2~3km

◇順路: 「向日町」10:20⇒南春日町~西迎寺~正法寺~大原野神社(昼食)~勝持寺~願徳寺~南春日町⇒阪急「東向日町」・JR「向日町」

◇拝観料: 正法寺300円 勝持寺500円 願徳寺400円

◇昼の宴: 大原野神社境内・春日乃茶屋(蕎麦切り こごろ) 11:00~15:00

◇定員: 12名程度 申込締切り 2月8日(土)

◇申込先: 「街ing いばらき」代表・阪田 浩(080-1436-9881)

Tel&Fax/072-627-3480 E-mailibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己責任でご対応ください。